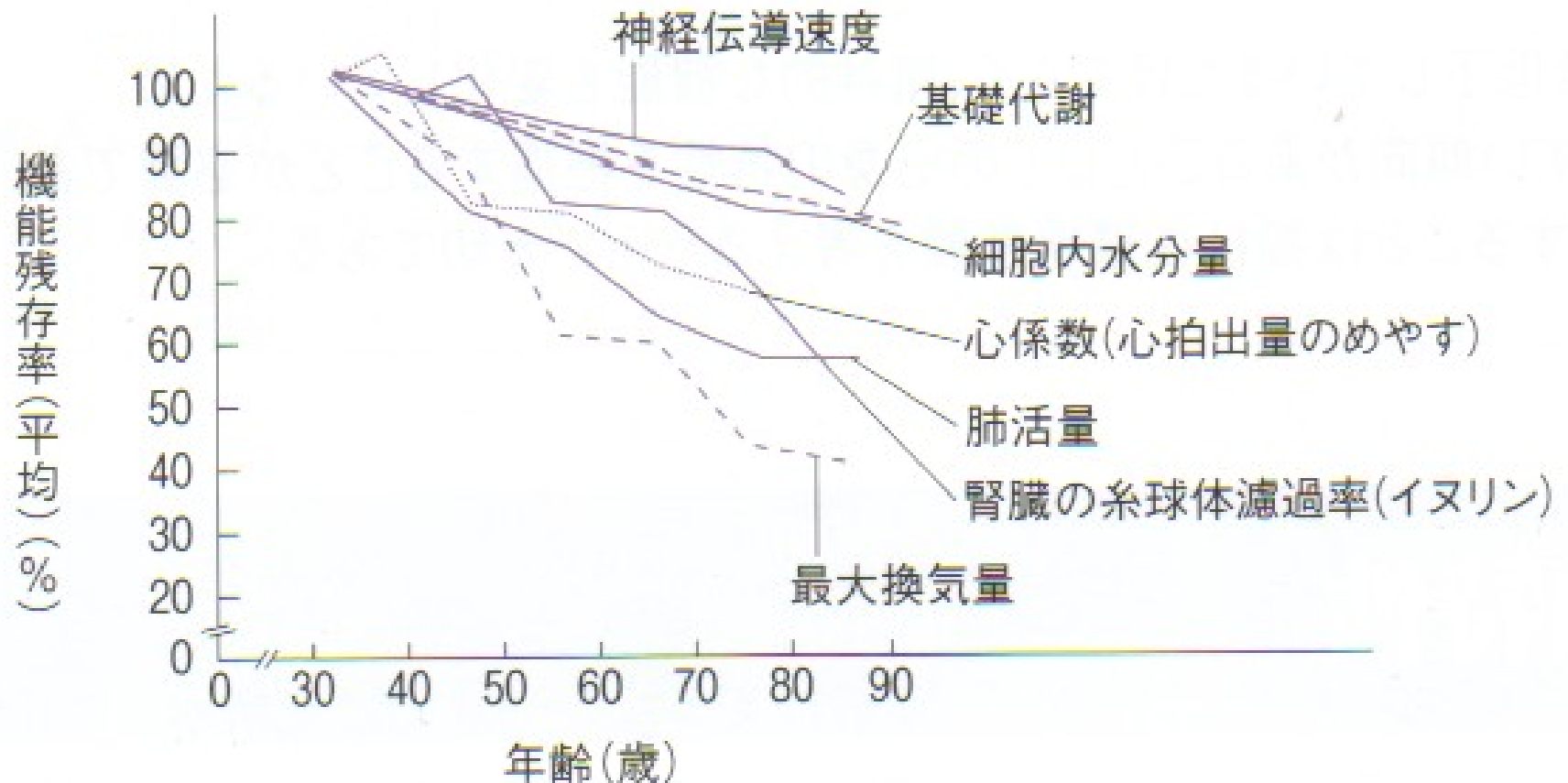


4. 高齢者とは

高齢者の心身特性の理解

老化による生理機能の低下

◎ 30歳をピークに低下



(Shock NW, 1977)

老年症候群(geriatric syndrome)

生活機能低下、**口腔機能低下(嚥下障害)**、**転倒**、**排尿障害(尿失禁)**、**低栄養**、**認知症**、**うつ**、**足のトラブル**、**閉じこもり**

◎ 定義

- ◎ 高齢者に多く、加齢とともに増加して治療と同時に介護・ケアが重要になる身体的・精神的諸症状・疾患

◎ 特徴

- ◎ **互いに関連性をもち病状を悪化させる**
- ◎ **完全な治癒が望めないことが多い**

排尿障害とは

◎ 定義

- ◎ 尿を溜めたい、出すことに問題があること

◎ 分類

◎ 排出症状

尿が出にくい状態

1回の排尿に50秒以上かかる、途中で止まってしまう、力んで排尿する、まだ尿が残っている

◎ 尿失禁

尿が我慢できなかつたり、知らないうちに出てしまうこと

◎ 頻尿

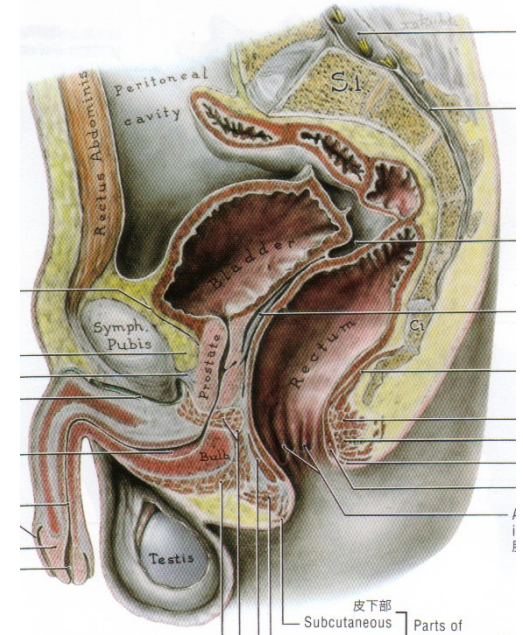
- ◎ 一般的に「オシッコが近い」と呼ばれる状態
排尿の回数が日中10回以上、夜間3回以上ある

排尿障害の性差

男性

- 尿道が長い(約16~20cm)
- 膀胱下部に前立腺

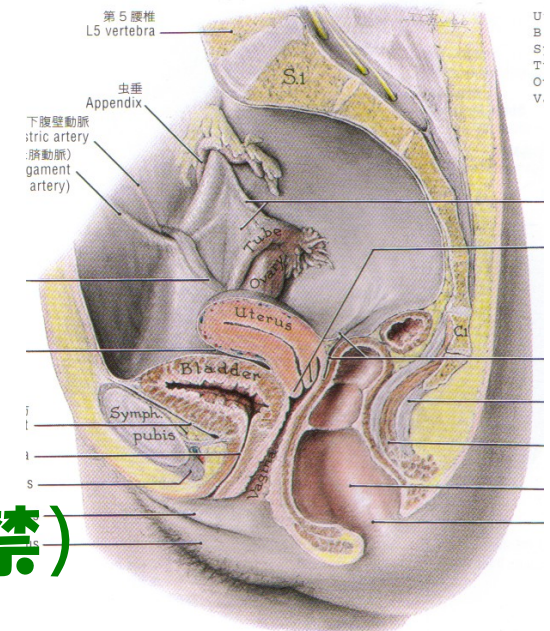
➡ 排出障害



女性

- 尿道が短い(約3~4cm)
- 骨盤の最下層に「骨盤底筋群」

➡ 蓄尿障害:尿失禁
(腹圧性尿失禁)



低栄養の影響

- ① 浮腫
- ② 褥瘡
- ③ ADL(日常生活動作)の低下
- ④ 免疫機能低下による、易感染状態、合併症のリスクの向上

褥瘡

- ① 圧迫、阻血により皮膚、皮下組織に生じた壊死
- ② 好発部位
 - ③ 骨隆起上に軟部組織が乏しく、高い圧が集中しやすい部位



褥瘡の原因

① 褥瘡の原因

② 圧迫、せん断力



➡ 骨が突出し床と接している部分に
生じやすい

例) 仙骨部、かかと

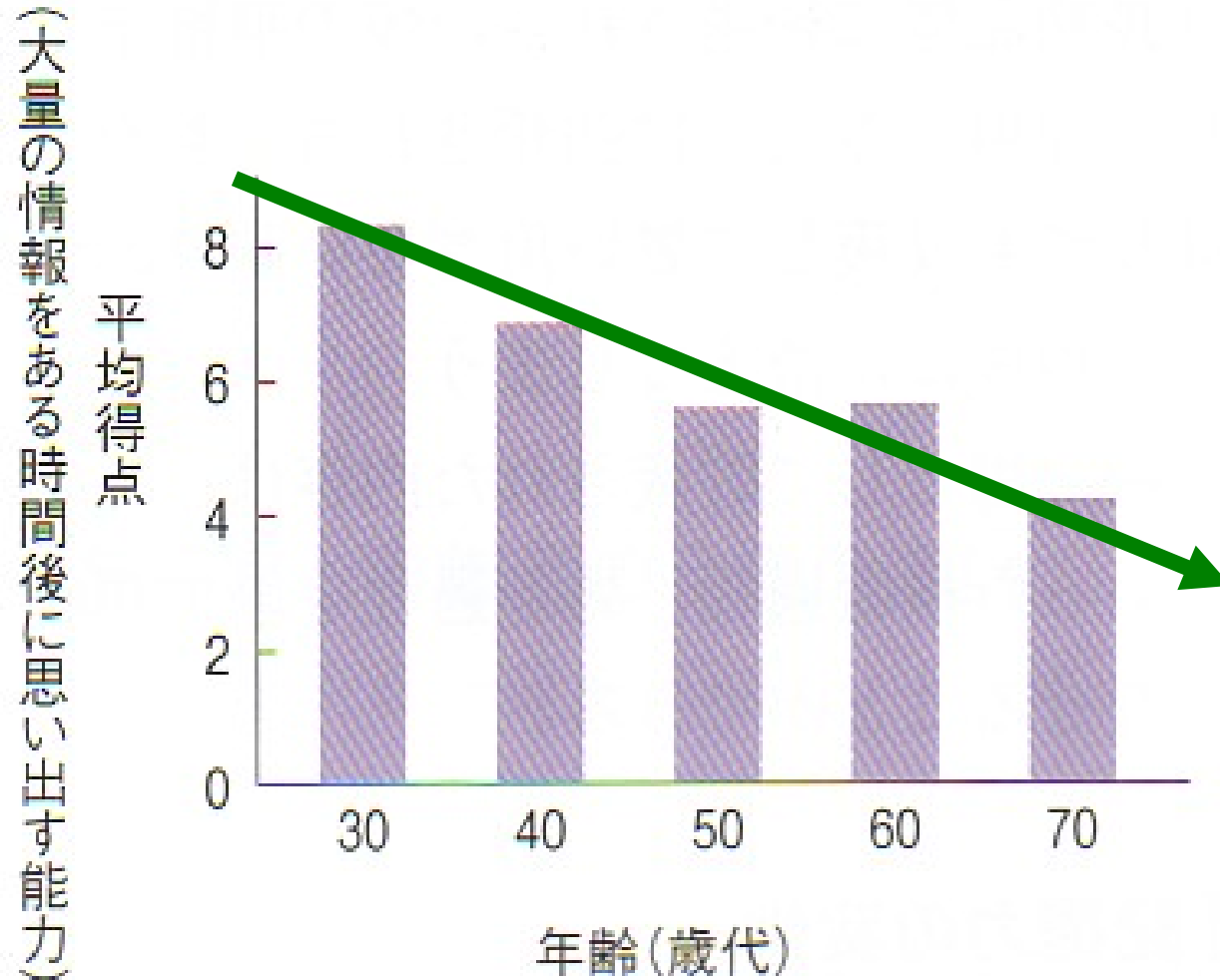
← 背景に感覚障害がある

③ 低栄養状態

**高齢となって(加齢により)
失うもの、得るものは
なんでしょうか**

高齢者の基本的な心理特性

- 記憶、計算力の低下



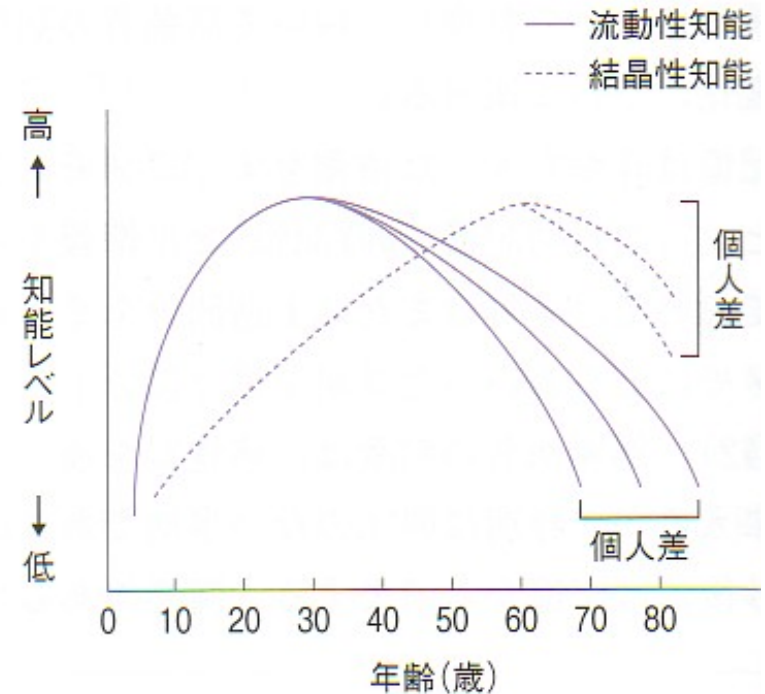
1. 一般知能の構成要素と知能の変化

① 流動性能力

- ① 過去の経験によらず新しい問題に適切に対処する能力
- ② 加齢とともに低下

② 結晶性能力

- ① 発達に時間を要するが
年齢で容易に減衰しない
- ② 60歳代まで向上する



(Horn, et al. 1967)

「創造力」と「分別力」

創造力

-  未知のものに対する革新的な姿勢

例)アインシュタインの研究

-  年齢とともに衰える

分別力

-  すでに知られているものに対する理解力

例)孔子の思想

-  年齢とともに培われる

認知症

認知症を理解できると
「高齢者」を理解できる

健忘状態と認知症との違い

	健忘状態	認知症症状
新しい記憶が 苦手、もの忘れ	ある	ある
もの忘れの状態	部分的	全般的
日常生活上の周囲の 状況の判断力	正常、支障なし	異常、支障有り
人格	保たれる	崩壊
注意による訂正	可能	不可能

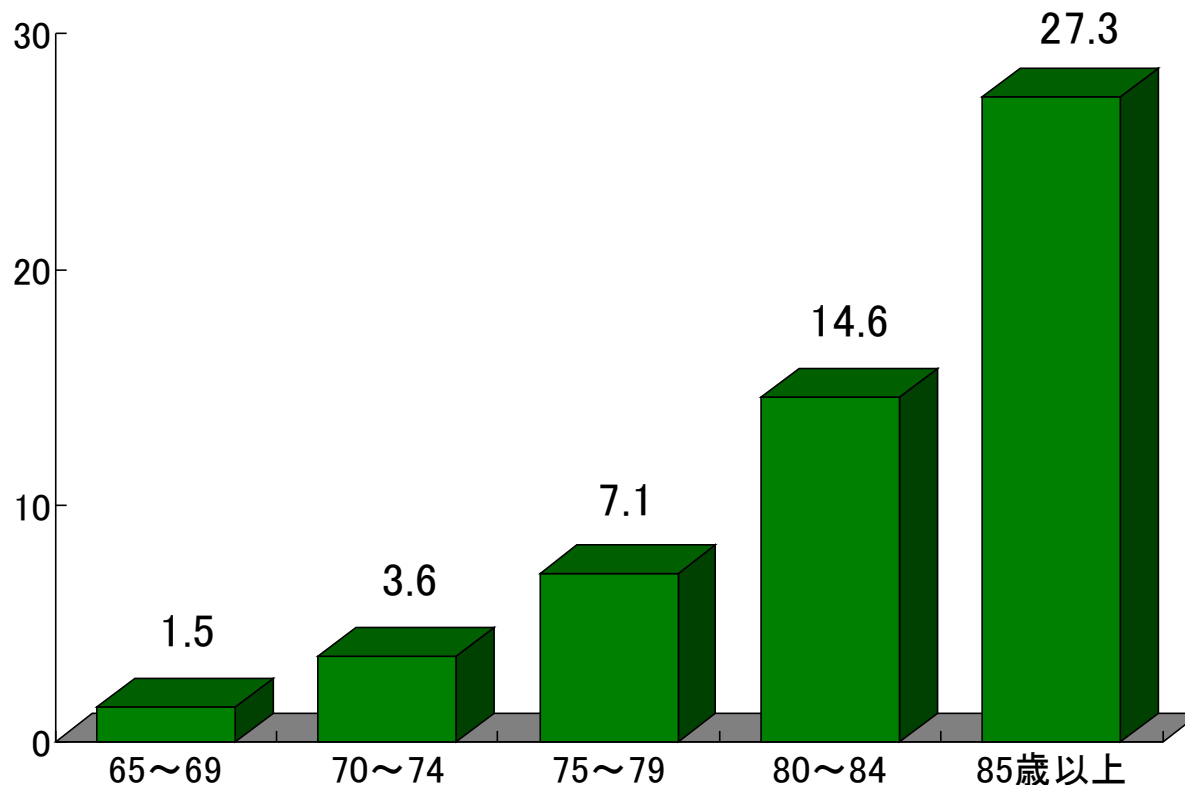
(2級公式テキスト p91)



年齢別の認知症の有病率

「老人保健福祉計画策定に当たっての痴呆老人の把握方法について」
平成4年2月老計第29号、老健14号

有病率[%]

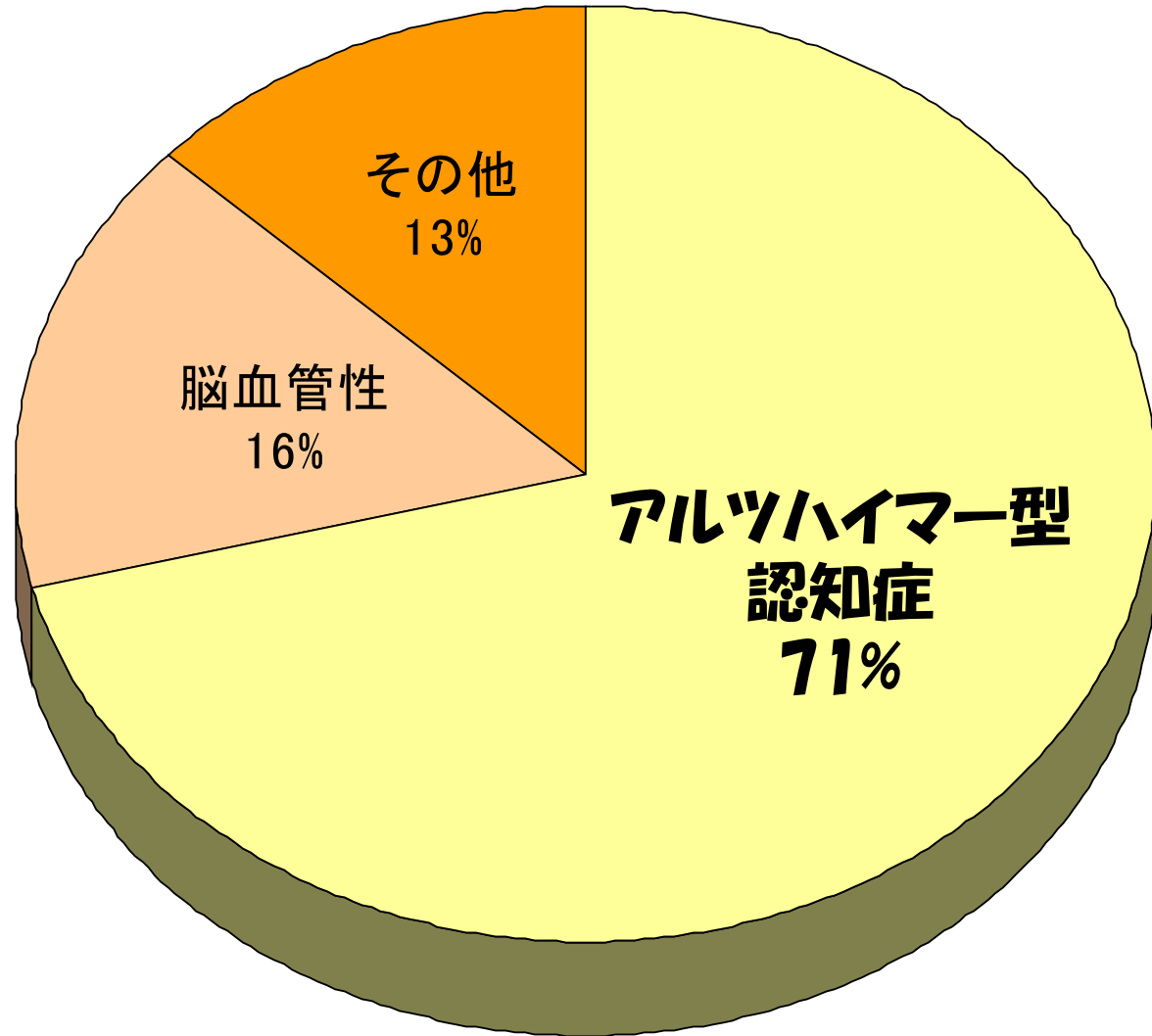


⑧ **80歳以降で急速に有病率が増加(20%以上)**

⑧ **決して珍しい病気ではない**

65歳以上の認知症の原因

(Ishii et al., 1999)



中核症状と周辺症状

周辺症状

介護に対する
抵抗

攻撃的言動

徘徊

中核症状

短期記憶障害
高次脳機能障害
見当識障害

不潔行為

異食

幻覚、妄想、
(夜間)せん妄

不眠

焦燥

多動、興奮

短期記憶障害、見当識障害

FKさん, 68歳



NHK ETVワイド とともに生きる「いま、認知症の私が伝えたいこと」 18-5-27

高次脳機能障害(実行力障害)



NHKスペシャル「シリーズ認知症 その時、あなたは～第1回 常識を変えよう」



「お母さん、お父さん」
「お母さん、お父さん」
お母さん、お父さん

熱いから箸をつけてよ

高次脳機能障害

KIさん, 56歳



中核症状と周辺症状

周辺症状

介護に対する
抵抗

攻撃的言動

徘徊

中核症状

短期記憶障害
高次脳機能障害
見当識障害

異食

不潔行為

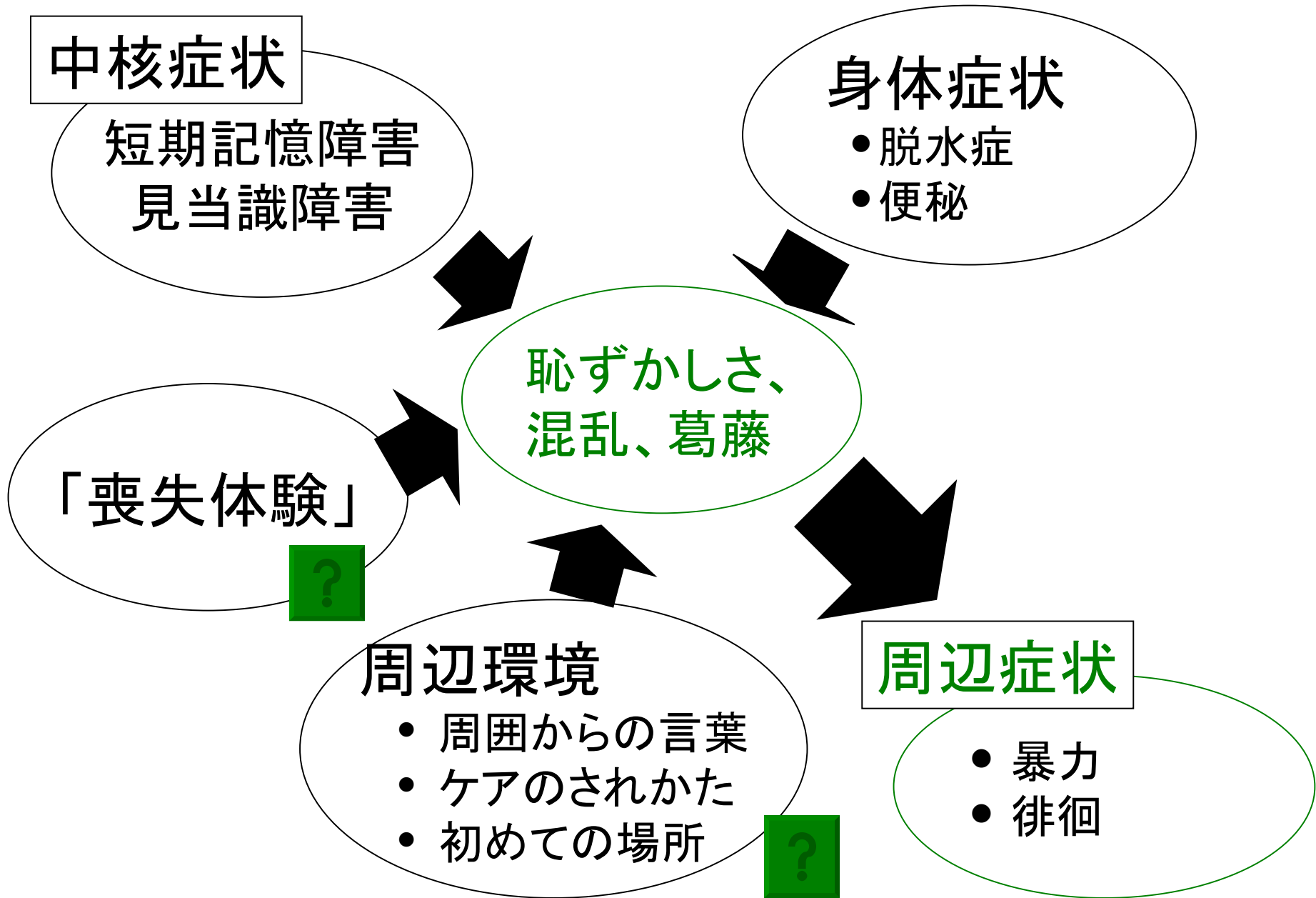
不眠

幻覚、妄想、
(夜間)せん妄

焦燥

多動、興奮

中核症状と喪失体験、周辺症状の関係



「役割」の喪失と認知症



NHKスペシャル「シリーズ認知症 その時、あなたは～第1回 常識を変えよう」



NHKスペシャル「シリーズ認知症 その時、あなたは～第1回 常識を変えよう」



NHKスペシャル「シリーズ認知症 その時、あなたは～第1回 常識を変えよう」



NHKスペシャル「シリーズ認知症 その時、あなたは～第1回 常識を変えよう」

老年期の「喪失体験」

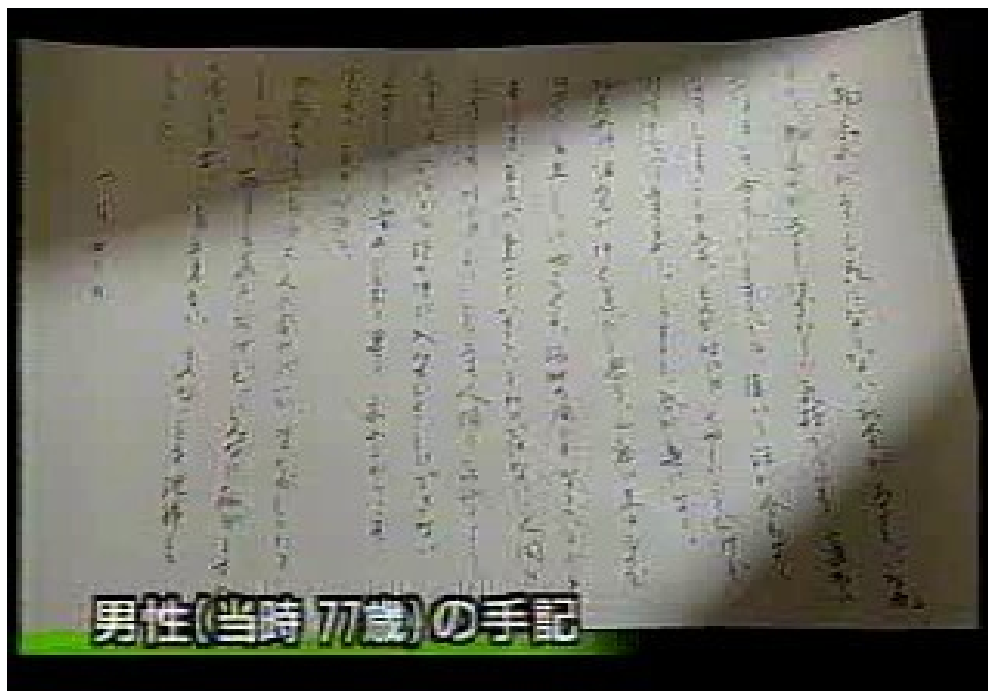
4つの喪失

- 心身の健康
- 社会的つながり
- 経済的基盤
- 生きる目的

- ◎ 身体的諸機能
- ◎ 精神的諸機能
- ◎ 社会的諸機能
 - ◎ 職業
 - ◎ 地位
 - ◎ 使命
 - ◎ 経済力



周辺環境

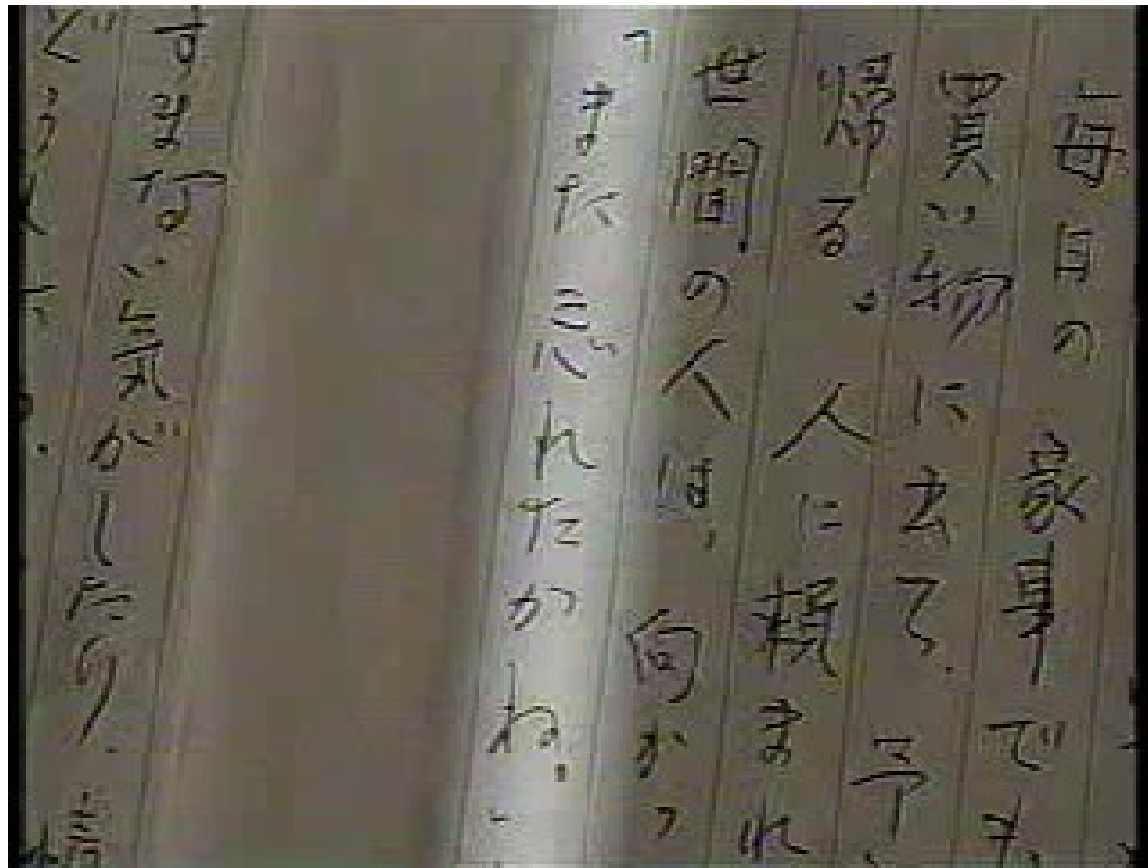


77歳男性

「物忘れがあると、恥かしい気持ちになり、適当に話を聞いて分かったふいをする」

「皆が『しっかりしてくれ』と励ましてくれる。だけど、どんなに励ましてくれても、出来ないものは出来ない」

(NHK 福祉ネットワーク「認知症の“心”を知る」 18-7-18)



75歳 女性

「家族が『また忘れたかね』と言った時、すまない気がしたり、情けない思いをたくさんした」

「どうしたら、人に迷惑のかからない暮らしが出来るかと考えたいした」

(NHK 福祉ネットワーク「認知症の”心”を知る」 18-7-18)

環境と認知症

◎ リロケーション・ダメージ (環境移行、生活の継続性)

例) 入院したらボケちゃった
転居ショック

◎ 沖縄の認知症高齢者に関する調査

(東京大学 大井
玄先生)

- ◎ 重度認知症高齢者の約5割が報酬のある労働を実施(東京では約1割)
- ◎ 中重度の女性の多くが家事を実施
- ◎ 妄想などの周辺症状がない



孤独感と認知症



① 「アクション」(スウェーデン、ストックホルム)

② 認知症高齢者の自宅にテレビカメラ付きパソコンを設置し、市役所と結んで住み慣れた家での生活を支援するシステム
(読売新聞19-3-9)



高齢者に対する対応で 考えておきたいこと

- ① 加齢により「失うもの」: 喪失体験
- ① 加齢により「得るもの」:
高齢者はあわれむべき対象か？
- ① 周辺環境
 - ① 物理的環境
 - ① 声かけなど